

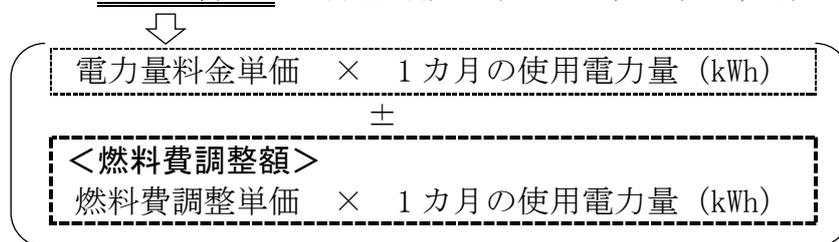
## 燃料費調整制度の見直しについて

## 【燃料費調整制度】

- ・燃料費調整制度は、為替レートや原油・海外炭の燃料価格の変動を迅速に電気料金へ反映させる制度です。
- ・毎月の電気料金は、基本料金、電力量料金および再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計額です。
- ・このうち電力量料金は、使用電力量にもとづいて算定し、燃料費調整単価に使用電力量を乗じた燃料費調整額を加算または差し引きして計算します。

## 《電気料金の算定方法》

電気料金 = 基本料金 + 電力量料金 + 再生可能エネルギー発電促進賦課金



- ・燃料費調整額の算定に用いる燃料費調整単価は、基準燃料価格（37,200 円/kℓ）と、貿易統計値（原油、海外炭の燃料価格）により算定する3カ月間の平均燃料価格との差にもとづき毎月算定し、2カ月後の電気料金に反映します。

平均燃料価格の算定期間						適用する電気料金					
2022年 6月	2022年 7月	2022年 8月	2022年 9月	2022年 10月	2022年 11月	2022年 12月分	2023年 1月分	2023年 2月分	2023年 3月分	2023年 4月分	2023年 5月分
	7～9月の平均燃料価格					2022年 12月分 電気料金					
		8～10月の平均燃料価格					2023年 1月分 電気料金				

## 《現在の燃料費調整単価の算定方法》〔従量制供給（低圧）の場合〕

プラス調整の場合

$$\left( \text{平均燃料価格} - \frac{\text{基準燃料価格}}{37,200 \text{ 円/kℓ}} \right) \div \frac{1,000}{\text{円/kℓ}} \times \text{基準単価} \quad 0.197 \text{ 円/kWh}$$

※平均燃料価格が基準燃料価格（37,200 円/kℓ）の1.5倍の上限価格 55,800 円/kℓを上回る場合には、55,800 円/kℓで燃料費調整単価を算定する。

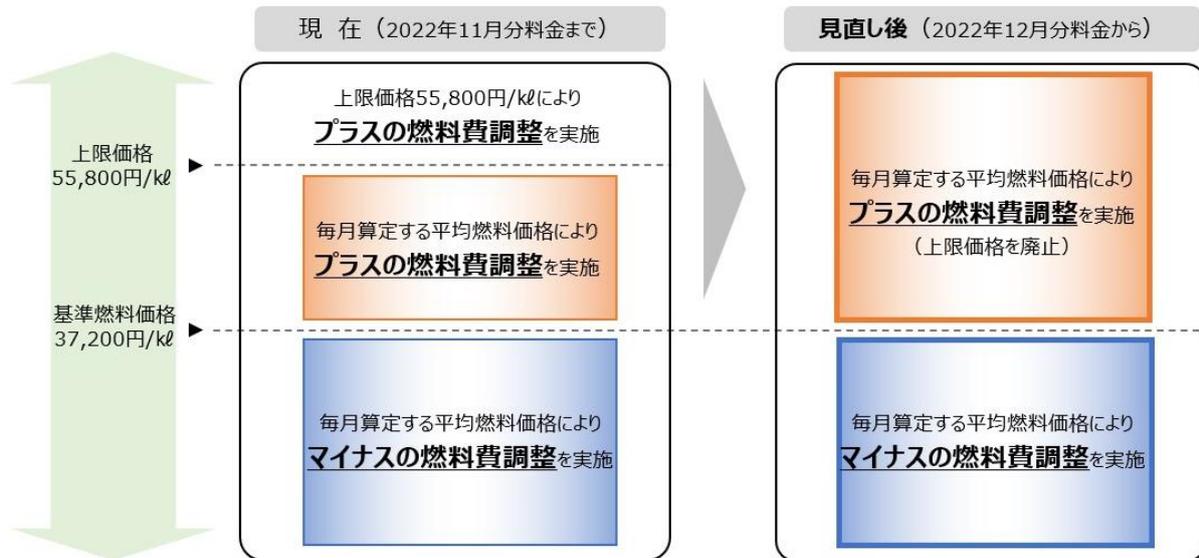
マイナス調整の場合

$$\left( \frac{\text{基準燃料価格}}{37,200 \text{ 円/kℓ}} - \text{平均燃料価格} \right) \div \frac{1,000}{\text{円/kℓ}} \times \text{基準単価} \quad 0.197 \text{ 円/kWh}$$

### 【見直しの概要】

- ・現在、低圧料金の燃料費調整単価の算定において、平均燃料価格が基準燃料価格（37,200円/kℓ）の1.5倍の上限価格（55,800円/kℓ）を上回る場合には、上限価格により燃料費調整を行っています。2022年12月分の電気料金から、低圧の自由料金プランについてはその上限を廃止します。

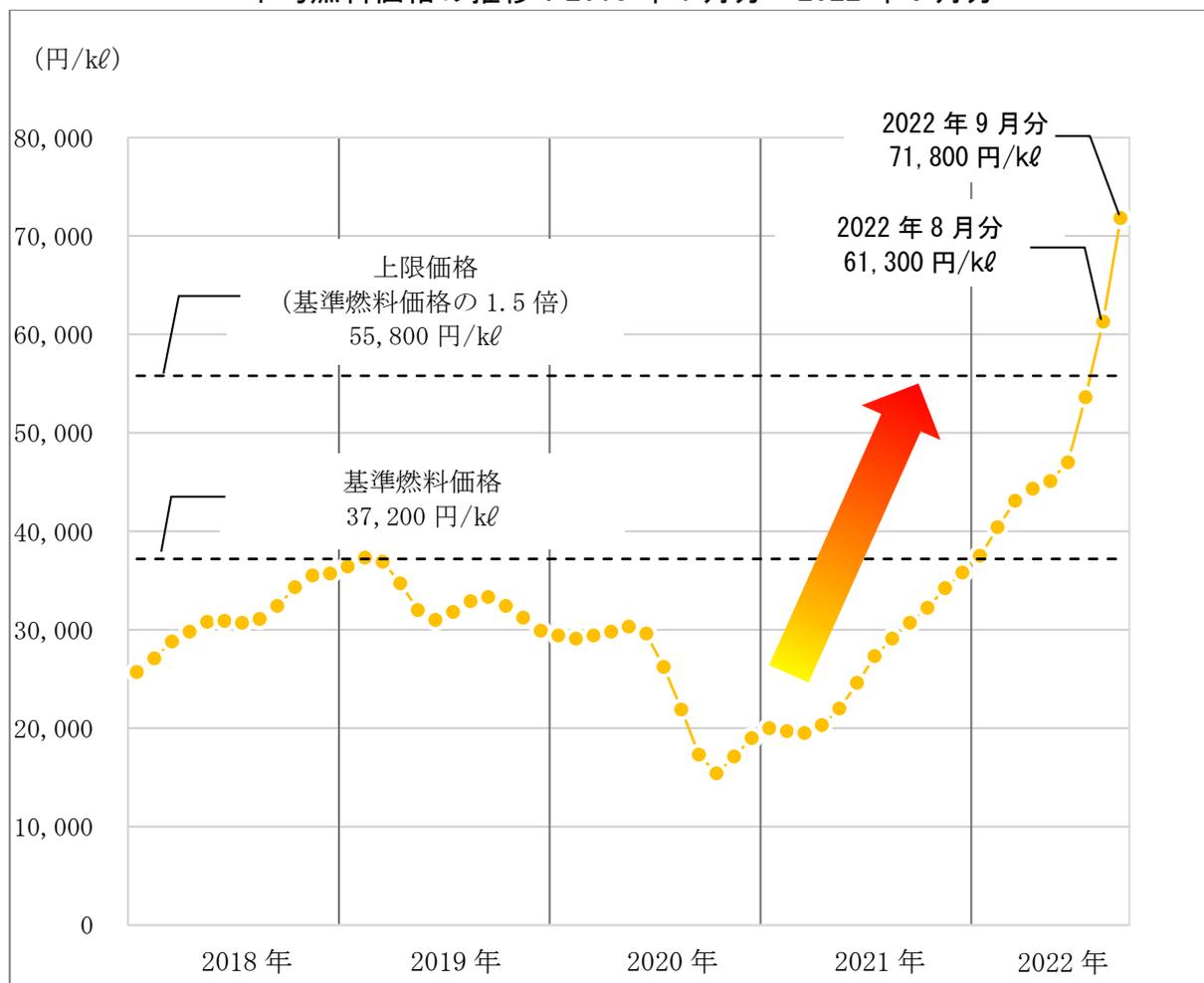
（見直しイメージ）



### 【平均燃料価格の推移】

- ・現在、世界のエネルギー情勢が不安定となっている影響から、至近の燃料価格は高水準で推移しており、本年8月分料金から燃料費調整制度における平均燃料価格が上限を上回っています。

平均燃料価格の推移：2018年1月分～2022年9月分



以上